



「カフェに入っても、エントリーシートだけはそこで書きませんでした。家で心を込めて書きたいと思ひまして」

●身だしなみ

「違和感がなければ普通でいいと思います。私は靴に気を付けていました。100円ショップにある泥落としをバッグに忍ばせて、雨の日は靴を磨きましたね」

「そこの社員になったつもりで、お客さまの前に立つことができるような服装を心がけていました。香りにも気を使いましたね。変な匂いだと思われると、あまり良い印象を持ってもらえないかと」

「Yシャツのアイロンかけは必ずしていました。たまにヨレヨレのシャツを着ている人を見かけますが、私から見てもあまり見栄えがよくなかったです」

「企業や業種によっては、こういう服装の方がいいという噂もあると思いますが、そんなことはないです。違和感がないこと、清潔感があることが大切です」

●面接で役立ったこと

「私なりに“面接振り返りノート”を作っていました。うまく答えられたことは赤ペンで、あまり反応がよくなかったこ

とは青ペンで。次の面接につなげました」

「企業説明会に行ったことですね。自らの足で直接出向くことで、予測や情報とは違った社風や社員の雰囲気などを感じることができました。靴を2足つぶしました」
「先輩訪問です。先輩に聞いていたことが、面接の質問で出てきたときは、聞いておいてよかった!と思いました(笑)」

「社会人になったサークルの先輩から話を聞いたことです。企業の裏事情まで詳しく教えてくれる先輩もいたので、とても役立ちました」

●誰からのアドバイスを大切に？

「やはり両親ですかね。あとは先輩。サークルで私をよく見ていてくれていると思いましたので」

「私は、自分のことをまったく知らない人に第一印象を聞いたりしました。例えば説明会で知り合った人とかに、私ってどんな印象だった?って」

「社会人と話すことは大切です。話し方、敬語の使い方。学生同士のおしゃべりとは違って、勉強になります」



電子書籍アプリ『白門書房』

『白門書房』は、中央大学が発行する広報誌を集めた、電子書籍配信アプリです。

『HAKUMON Chuo』のバックナンバーはもちろん、これまで印刷物のみで配布していた中央大学の大学案内誌や学部ガイドブック、大学院・専門職大学院案内、附属学校案内などを、電子ブックの形式でダウンロードできます。

利用方法は簡単。iOSの場合はApple Inc. が運営するApp Store (アップストア) から、Androidの場合はGoogle Inc. が運営するGoogle Playから無料でダウンロードできます。App StoreおよびGoogle Playへは、無線LAN (Wi-Fi) を通じてどこからでもダウンロードできます。

『白門書房』ダウンロード後は、インターネットへの接続環境がなくても、電子ブックを開くことができます。

過去のバックナンバーや他の媒体を読みたい場合は、4GやWi-Fiを通じて何冊でもダウンロード可能です。

本電子書籍・ドキュメント配信システムは、2015年3月現在、86冊の大学広報誌を用意しており、今後も、新刊本発刊次第、順次電子ブックで提供する予定です。

『白門書房』アプリについての詳細は、以下のサイトよりご覧いただけます。

iOS版

<http://itunes.apple.com/jp/app/id413465097>

Android版

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.documentcontainer.web>

※Android4.0未満の機種ではご覧いただけませんので、ご注意ください。

iOS版 ニューススタンド (2015年リリース)

※定期刊行物である『HAKUMON Chuo』、『中央大学の近況』についてのみ、こちらでご覧いただけます。